

製品名	ワイヤレスモニター付 テレビドアホン 電源コード式	テレビドアホン 電源コード式
品番	バイエル エスタブリュースト ケイエフ VL-SWZ300KF バイエル エスタブリュイー ケイエフ VL-SWE310KF バイエル エスタブリュイー ケイエル VL-SWE310KL	バイエル エスピーイー ケイエフ VL-SVE310KF バイエル エスピーイー ケイエル VL-SVE310KL

- 本機には宅配ボックスは付属されていません。
- 接続・動作確認は、宅配ボックス設置業者様で実施してください。
- 使いかたは「取扱説明書 宅配ボックス連携編」をお読みください。
- 施工が原因で不具合が生じた場合は、宅配ボックス設置業者様または販売店にご相談ください。
- 本書に記載のイラストや画面はイメージです。実際とは異なる場合があります。

施工をされる方へ

- 本書および接続する宅配ボックスの施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 施工終了後は、必ず本書をお客様にお渡しください。

安全上のご注意 必ずお守りください

- 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。
 - お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	 してはいけない内容です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。	 実行しなければならぬ内容です。

 警告

火災・感電・漏電などを防ぐために

-  禁止
 - 分解・修理・改造しない
→ 修理は販売店にご相談ください。
 - 雷のときは配線工事をしない
 - 指定以外の機器は接続しない
- 端子に電源(AC100 V)を接続しない
- ドアホン親機の電源(AC100 V)を入れたまま配線工事をしない

 注意

感電などを防ぐために

-  禁止
 - 土中埋設配線する場合は、土中での接続はしない
(絶縁劣化により、感電の原因になることがあります)
- 
 - 土中埋設配線する場合は、保護管を使用する
 - 屋外配線する場合は、雷サージ保護のため、避雷器を取り付けるか、保護管を使用して埋設配線する

パナソニック株式会社 アプライアンス社

〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号

© Panasonic Corporation 2020



PNQX9039ZA

PNQX9039ZA F0720MRO
Printed in Vietnam

宅配ボックスとの連携について(有線接続)

本機は、対応の宅配ボックスとカメラ玄関子機を有線接続することで連携できます。(2台まで)

対応機種と必要な機器
(宅配ボックス設置業者様にてご準備ください)

<対応機種>
対応機種については、下記URLよりご確認ください。
(2021年春に掲載予定です。)
<https://www.panasonic.com/jp/support/consumer/com/door/box/>
対応機種の情報は右記のQRコードからも確認できます。*

動画・説明



対応できる機器
300-box01

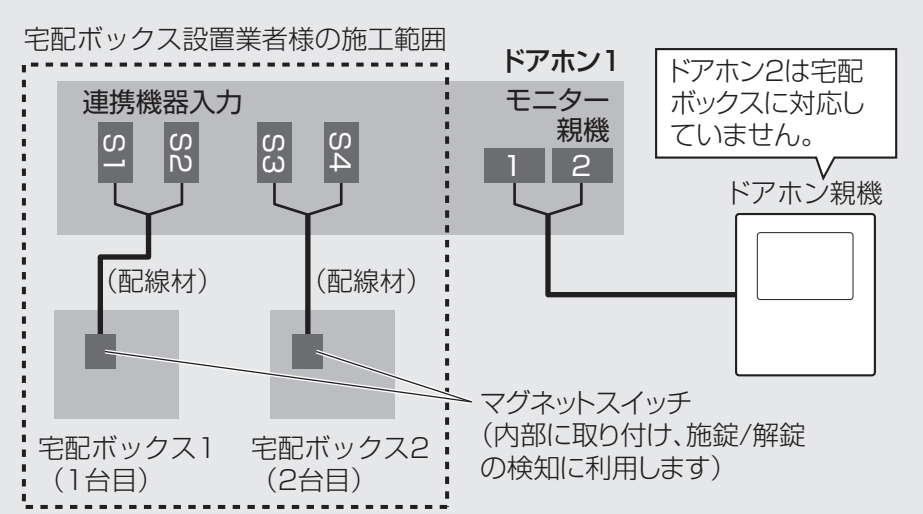
■ 接続には下記の機器が必要です。

必要な機器	マグネットスイッチ 品番：EK369
	配線材：単芯線 φ0.65 ～φ0.9 mm ● 配線距離50 m以内(配線距離を超えると、動作不良の原因になります)

■ 宅配ボックスへの穴あけ加工や配線処理などが必要です。加工や配線は宅配ボックスの設置業者様に依頼することをお勧めします。工事費などは設置業者様にご確認ください。

- ドアホン親機の登録は宅配ボックス設置業者様が行ってください。

■ 配線系統図



- ※ スマートフォンなどでQRコードを読み取り、表示されたサイトにアクセスしてください。(通信料金がかかります)
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

宅配ボックスの設置場所について

- ドアホン1の撮影範囲内で宅配業者様が映る位置に宅配ボックスを設置してください。宅配ボックスの荷受け時にドアホン1で荷受けの様子を録画することができます。
 - ・ドアホンの撮影範囲は、「施工説明書(カメラ玄関子機とモニター親機の設置工事用)」をお読みください。
 - ・荷受けの様子を録画するには、「取扱説明書 宅配ボックス連携編」の「宅配ボックスの荷受け時の録画設定をする」を「する」に設定してください。

1 宅配ボックスの準備

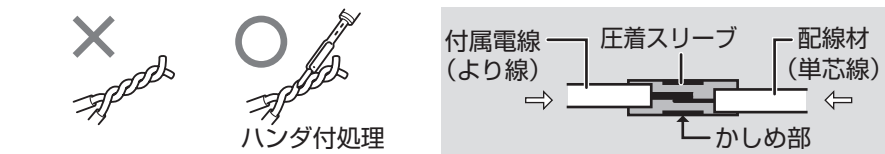
- 加工方法は、宅配ボックスの施工説明書をお読みください。施工説明書に記載がない場合などは、QRコードからも確認できます。

1 宅配ボックスに配線用の穴を開ける

2 宅配ボックスに配線材を結線したマグネットスイッチを取り付ける

- 配線材は配線用の穴から出しておきます。

<結線方法>
マグネットスイッチの付属線(より線)と配線材(単芯線)をハンダ付処理してテーピングで絶縁するか、市販の圧着スリーブで圧着処理をしてください。(結線部をよじっただけでは接触不良になり、正しく動作しない場合があります)

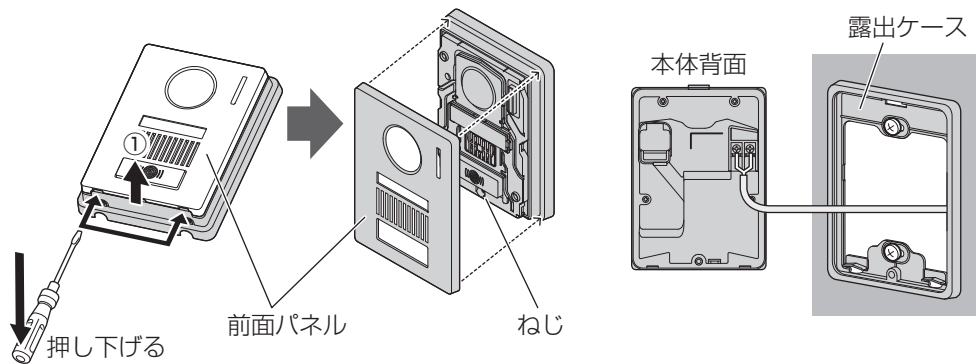


- 配線材(単芯線)やハンダ、圧着スリーブは宅配ボックス設置業者様にてご準備ください。

2 宅配ボックスからの配線材をドアホンに接続する

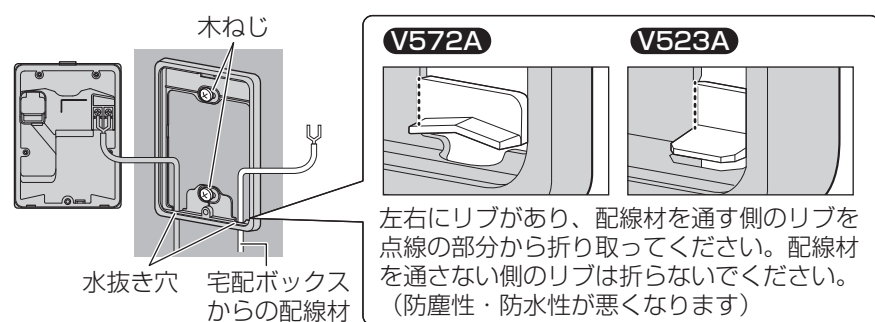
1 ドアホン1の本体を露出ケースから取り外す

- 底面の穴に⊖ドライバーを差し込んで押し下げ、前面パネルを①の方向に持ち上げて取り外す(パネルを傷つけないようご注意ください)
- ねじをゆるめて、本体を露出ケースから取り外す



宅配ボックスからの配線材を壁に取り付ける場合(露出配線)

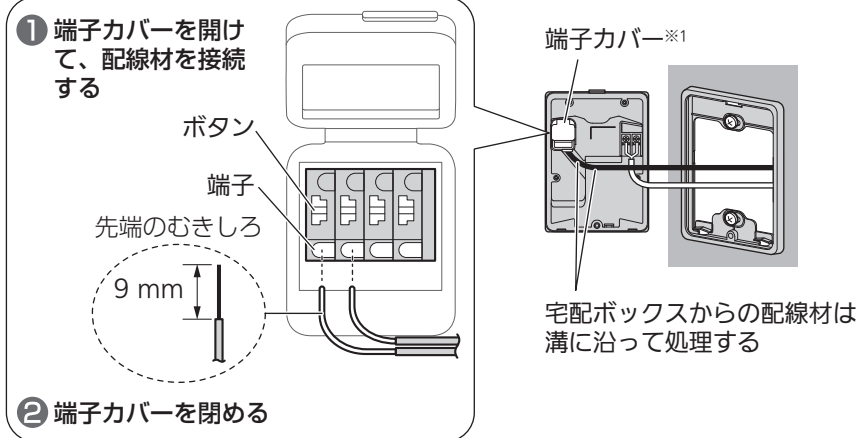
- 木ねじをゆるめて、宅配ボックスからの配線材を水抜き穴に通す



- 木ねじをまわして露出ケースを壁面に確実に取り付ける

2 ドアホン1に配線材を接続する

- 配線系統図(表面)に従って正しく接続してください。
- 配線材は、各端子の横にあるボタンをドライバーの先などで押しながら抜き差ししてください。

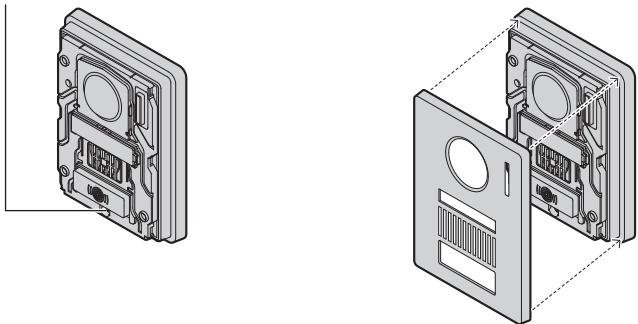


- 端子カバーを閉める

※1 VL-V523Aは位置が異なりますが、接続方法は同じです。

3 本体を露出ケースに固定し、前面パネルを元のように取り付ける

- 露出ケースに取り付けてねじを締める※2
- 前面パネルを取り付ける



※2 電動ドライバーなどを使う場合は、ねじの破損防止のため、締め付けトルクを0.7 N・m (7 kgf・cm)以下に設定してから固定してください。

3 ドアホン親機で宅配ボックスの設定をする

1 取り付けと接続を確認する

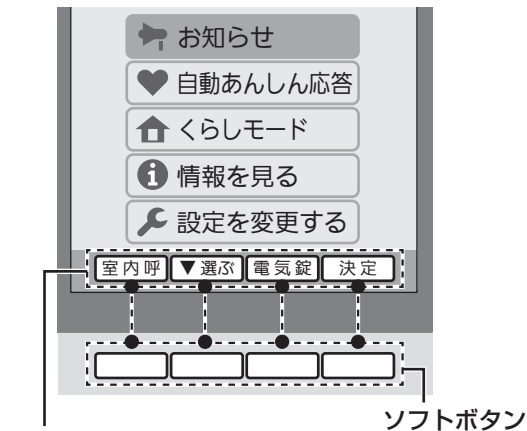
- 誤配線、ショートなどがないことを確認してください。

2 ドアホン親機の電源を入れる

3 ドアホン親機で宅配ボックスの設定をする

- 待機中(画面が消灯中)に画面下の4つの□のいずれかを押す
- (▼選ぶ)で[設定を変更する]を選び、□(決定)を押す
- (▼)/□(▲)で[接続機器の設定]を選び、□(決定)を押す
- (▼)/□(▲)で[宅配ボックス]を選び、□(決定)を押す
- (▼)/□(▲)で[宅配ボックス(有線接続)]を選び、□(決定)を押す
- (▼)/□(▲)で[接続する]を選び、□(決定)を押す
- (▼)/□(▲)で[A接点(メーク)]*を選び、□(決定)を押す
- 終わったら[終了]を押す

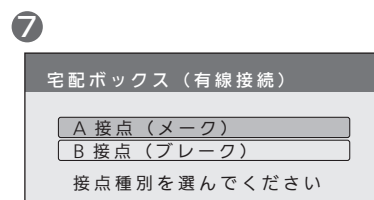
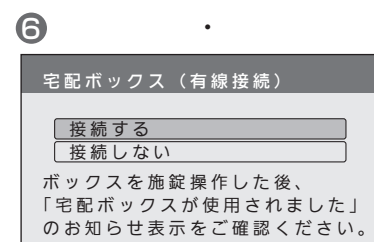
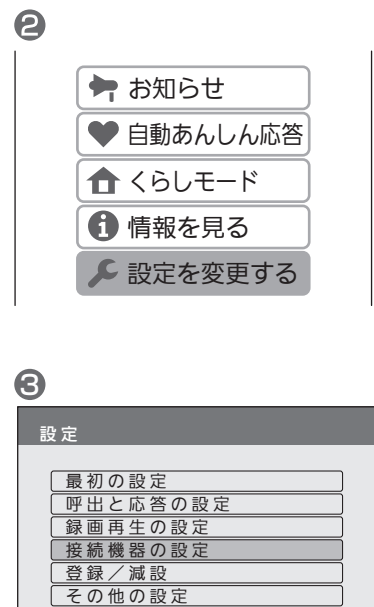
■ボタンガイドと押すボタンについて



ボタンガイド

場面で機能がわり、画面下のソフトボタンを押して操作します。

表記例: □(決定)を押す



※ [A接点(メーク)]は宅配ボックスの施錠時に接点がONになる場合に選びます。

4 正しく動作するか確認する

- 取り付け・接続後、正しく設定・配線できているか下記の手順で動作を確認してください。
- 宅配ボックスの取扱説明書も合わせてお読みください。

宅配ボックスの操作

- 宅配ボックスを施錠する
 - ドアホン親機のお知らせランプが点灯します。

ドアホン親機の操作

- 待機中(画面が消灯中)に画面下の4つの□のいずれかを押す
- (▼選ぶ)で[お知らせ]を選び、□(決定)を押す
- お知らせの画面を確認する
 - ドアホン親機のお知らせランプが消灯します。
- 終わったら[終了]を押す

宅配ボックスの操作

- 宅配ボックスを解錠する

お知らせ

- 宅配ボックスを施錠してもドアホン親機のお知らせランプが点灯せず、解錠時に点灯する場合は、「A接点(メーク)」と「B接点(ブレイク)」の設定を変えてみてください。(上記「3 ドアホン親機で宅配ボックスの設定をする」の手順⑦)

